



〒111-8765 東京都台東区西浅草 3-17-1 浅草ビューホテル 2階
TEL. 03-3847-1111 FAX. 03-3847-0154 URL: http://www.asachu-rc.jp

2018 - 2019 年度テーマ

R.I. テーマ 「インスピレーションになろう」

R.I. 会長 バリー・ラシン
地区ガバナー 松坂 順一

クラブテーマ 「親睦による、充実したクラブライフを」

クラブ会長 浜中 清



2018年11月14日

第1559回例会

会長 浜中 清
幹事 斎藤 彰悟

本日の卓話

「ロータリー財団について」

上原洋一国際奉仕副委員長

紹介者 太田富美夫会員

今後の卓話予定

11/21 休会 (祭日振替)

11/28 「炉辺報告」



11月結婚記念日

3日 (23周年) 丸岡ご夫妻 ・ 11日 (40周年) 尾泉ご夫妻
13日 (35周年) 内田ご夫妻 ・ 18日 (19周年) 岩田ご夫妻
20日 (30周年) 藤掛ご夫妻 ・ 27日 (14周年) 江連ご夫妻



11月お誕生日祝

4日 (41才) 立野秀一君 6日 (45才) 矢野幸士君
9日 (77才) 中村義英君 23日 (76才) 植木 榮君
26日 (52才) 本間俊弘君



年間100%出席

立野 秀一 君 5回

前回 (10/31 1557 回例会) の記録

来訪者紹介

◆ゲスト 1名

卓話者 長谷川景光 様

◆ビジター 0名

出席報告

総会員数	休会	出席免除	出席	欠席	出席率	修正出席率
46名	1名	5名	37名	3名	92.50%	1555回例会修正 欠席0名・出席率100%

会長報告 < 浜中会長 >

本日の会長報告は2件です。

- ・先日、20日、21日に行われましたフラフェス in浅草では皆様のご協力を頂き、又天気にも恵まれ素晴らしい会にする事が出来ました。ありがとうございます。スポンサーのライオン様からも「神楽殿及び例会時のダンスを含め、素晴らしい催しでエネルギーを感じました。来年度は是非、社長に直接お声掛けをして下さい」とのお話を頂きました。又、多くの生徒の方からは「毎年でも参加したい会です」との声を聞きました。帰り際には、3校の先生より、「中央RCのメンバーの皆様、浅草神社の皆様、スポンサーのライオン様、アンデス様

にくれぐれもよろしく」との伝言を頂きました。2日間無事に終わられました事に感謝です。

- ・昨日、宮村様が私の事務所に訪ねてこられました。久しぶりでしたので嬉しかったです。ただし、顔の手術の痕はまだ痛々しく、回復ももう少ししかかるとの事でした。そのようなお話の中で食事がまだ不自由な事がありますので休会を本年度いっぱい迄伸ばされるとのことで休会届をお預かり致しました。「早く回復すれば休会期日内でも例会に参加します」との力強い言葉も頂きましたので「いつでもお待ちしております」との言葉でお別れ致しました。クリスマス会には参加して頂きたいですね。本日の報告は以上です。

幹事報告<斎藤幹事>

- ・山尾会員選考委員長より新入会員候補、坂本孝太郎さんの職場訪問の報告があり、当クラブのメンバーに申し分ない人物との報告がありましたので、入会手続きを進めて参ります。
- ・第1回北分区会長・幹事会が29日(月)に「上野精養軒」で開催され、出席しました。今年度より、ガバナー補佐3人体制になり、従来の会より充実したのかなと感じました。
- ・ガバナー月信11月号をメールにて配信しま

したので、ご覧下さい。

- ・来週11月7日(水)の例会は11月5日(月)、「上野精養軒」にて16時開会の「北分区IM」への移動例会となりますのでご注意下さい。
- ・11月14日(水)の卓話は、上原国際奉仕副委員長による「ロータリー財団」についてです。
- ・11月14日(水)に第5回理事・役員会を開催いたしますので、関係者の皆様、出席をお願いします。

委員会報告

<青少年奉仕委員会 立野委員長>

- ・11月4日(日)に浅草中央ローターアクト第1例会がありますので奮ってご参加下さい。

<ゴルフ同好会 吉沼会員>

- ・11月22日開催の3クラブ合同コンペの会費8千円を11月14日の例会時に徴収致しますので、ご準備の程お願い致します。

ニコニコボックス

<浜中会長、斎藤幹事>

- ・長谷川景光様、本日の卓話「^{りゅうてき}龍笛」宜しくお願い申し上げます。

<丸岡、高木、古谷、山尾、天笠、内田、藤掛、渡辺、小林(雅)、宮崎、立野、岩戸>

- ・長谷川景光様、本日の卓話「龍笛」宜しくお願い致します。

<片岡、太田、上原>

- ・西日本豪雨・北海道胆振東部地震、被災地の一日でも早い復旧・復興をお祈りします。

<本間、佐藤、長沼、斎藤幹事>

- ・ハッピーハロウィーン 渋谷の平和を願います。

<社会奉仕委員会打ち上げ参加者一同>

- ・先日の「第3回フラフェス in 浅草」に多くの会員に参加いただきありがとうございました。

打ち上げの残金も合わせてニコニコへ。

<後上>

- ・片岡様、先日の待乳山^{まつちやましようてん}聖天様お月見の会では、お世話になりました。有難うございました。

<河村>

- ・先日のプレ公演、浅草おどりに足をお運び下さいました皆様、広告協賛金にご協力頂きました皆様方、誠にありがとうございました。

<常見>

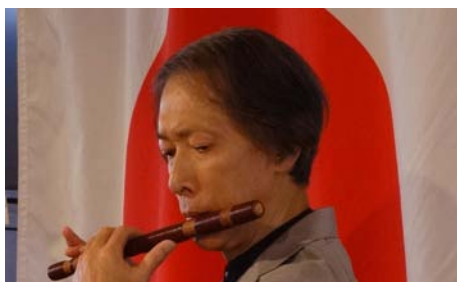
- ・10月25日に開催された第12回早慶明3大学ジャズフェスタにお越し頂いた皆様、ありがとうございました。

<磯本>

- ・結婚記念日に花束を戴きまして誠に有難うございました。

卓話

「龍笛」



長谷川 景 光 様
紹介者 渡辺 丈樹 会員

1. 自己紹介

ただ今ご紹介にあずかりました長谷川景光でございます。

どなたも、私のことはご存知ないと思います。これまでテレビにはNHKに1度、テレビ東京に2度、あとはケーブルテレビには数度出演させていただきましたが、その程度でございます。

フォンテックというレコード会社からこれまで8枚のCDを、サイデラレコードから1枚、計9枚のCDをリリースさせていただきました。

宣伝で恐縮ですが、10枚目のCDはジャズピアニストのコラボ演奏で、来年4月に「わくらば」というタイトルでリリースさせていただきます。

2. 雅楽とは

私が専門とする雅楽なのですが、非常にマイナーな芸能であります。

しかし、わが国における芸能の全てのルーツ、それが雅楽であると断言します。例えば、能、歌舞伎、薩摩琵琶、筑前琵琶、山田流の琴、生田流の琴、詩吟、祭り囃子に至るまでです。浅草は祭の盛んなところでありますが、最後の祭り囃子と雅楽が通じていることを主張しているのは、私だけです。

さて、1964年に開かれた東京オリンピック以前に行われた、日本における最大の国際的、歴史的行事とは何でしょうか？

それは、東大寺の開眼供養、つまり奈良の大仏を、大きな銅像から盧舎那仏に変える式典ですが、これに際し、世界中から、と言っても、中国、朝鮮、タイ、ビルマ、インド、ベトナム、といった当時の仏教国ですが、そこから、僧侶だけでなく、演奏団、舞踏団、サーカス団まで奈良にやってきたのです。

ですが、752年にこの大規模な式典を開催する通知を、周辺国にどのように、誰が、いつ行ったのか、全く分かっていません。正に歴史ミステリーなのです。

この時、インドからセンナという僧侶が、そして、ベトナムから仏哲という僧侶がやってきて、8曲の音楽を伝えました。この8曲を林邑八楽とって、雅楽の重要曲となっています。

ところで、お祭りの囃子の笛なのですが、楽譜もなく、しかし特徴的で軽快な笛の音なのですが、音楽的な位置づけが全くなされていません。私は、そのルーツがインドにあることを知っています。インドでは、村にサーカス団がやってきて、その事を知らせるために笛や太鼓で演奏しながら村をふれ廻るのですが、この笛の演奏が日本の囃子の笛にうり二つなのです。聞けば、誰でも分かります。

もう、ここまで言えばお分かりになると思うのですが、祭り囃子の笛のルーツは752年にインドからやってきたサーカス団の笛であったと、私は考えています。

そして、雅楽を知っている方でも、神社、また結婚式場の神殿で三三九度の杯を交わす時に演奏される音楽、これは越殿楽という曲なのですが、この楽器演奏が雅楽であると認識されていると思います。

しかし、平安時代には雅楽と書いて、うたまいと読むように、歌であったり、舞であったりするので。具体的には、雅楽の筆頭に掲げられるのが、唐楽、つまり中国伝来の音楽、舞があり、高麗楽、つまり朝鮮伝来の音楽、舞があり、唐楽を左の楽舞とし、右を高麗楽の楽舞と位置づけています。そして、中心にわが国独自の神楽、国ぶりの歌舞があり、その他、和歌を歌う催馬楽、漢詩を歌う朗詠があり、雅楽とは10以上の全く違うジャンルの集合体なのです。

中でも一番分かりにくいのが神楽で、例えば、鎌倉の鶴岡八幡宮では、お神楽と御神楽の両方が催され、漢字で書くと全く同じ字です。お神楽は民向性、つまり民に見せるもので、古代神話を題材とした、素戔鳴尊の八岐大蛇を退治するといったものや、岡目、ひょっとこの男女のまぐわいといった題材まであります。

一方、雅楽における神楽である御神楽は、神向性と言っていますが、神に捧げる、神と対話する、神と遊ぶ芸能で、本来は宮中における祭祀、つまり民が見ることは絶対にできない神事です。ですので、曲によっては宮内庁の金庫から楽譜を取り出し、これを暗記し、金庫に戻し、かがり火を焚き、夜通し演奏し舞うというような厳正な行事として執り行われます。

3. 浅草・町おこし

話はうって変わって、浅草・町おこしです。

ここからは、町作りに携わってきた人間として、お話ししたいと思います。

浅草 町おこし というキーワードでネット検索、つまりググってみました。

そこで、ベスト10を発表させていただきますと、

1 番目

「世界の浅草へ」町おこし メガネ職人がジャズで笑顔提供

これは、春川ひろしさんのことを夕刊フジが取り上げた記事です。

2 番目

同じく、春川ひろしさんのホームページでした。

3 番目

東京楽天地、浅草に商業施設「まるごとにつぼん」を12月中旬オープン

これは、トラベルウォッチというサイトのニュース記事です。

4 番目

地方に就職させる仕組みをという記事で、これは、「浅草おかみさん会」を立ち上げ、ふるさと創生ニッポンおかみさん会代表の富永照子のことを、観光経済新聞が取り上げられた記事でした。

5 番目

町おこし！ 浅草名物「浅草海苔」から作られたシャンプー

これは、エキサイト・ニュースというネットニュースで取り上げられた記事です。

6 番目

【無名の偉人】 好奇心の連続 『オフィス浅草一夜』黒須剛氏にインタビュー

これは、ニュースサイトであるロケットニュース24の記事です。

7番目

浅草の飲食店"チェーン店に負けない"理由 なぜ国内外の客に愛され続けるのか

これは、ビジネス誌であるプレジデントが今年3月に掲載した記事で、内閣参与(特命担当)飯島勲さんと先ほどの富永さんとの対談内容でした。

8番目

浅草と地方各地「まるごとっぽん」町おこし

これは、未来を創る財団の機関誌Newsletter MIRAIに掲載された、グッドモーニング社長の水代優(みずしろ ゆう)さんへのインタビュー記事でした。

9番目

夏の風物詩「浅草サンバカーニバル」は町おこしの一環だった?

これは、リクルートの不動産情報を扱うスーモのサイトであるスーモジャーナルの記事でした。

10番目

浅草エリアという括りを取り上げられた、いろは商店街の内容でしたので、割愛させていただきますが、つまり、浅草の町おこしという観点では、9番目まで、九つで事足りるということになります。

4. 2020年、東京オリンピックに向けて

最後に、2020年東京オリンピックに向けて、この浅草がどのように町作りを行っていくべきなのかについて述べさせていただきたいのですが、昨今はトランプ大統領だけでなく、ブラジルのトランプ、新しく就任したボルソナロ大統領など、暴言を吐くと人気が出るようですので、最後にお話しする内容は暴言かもしれませんが、どうかお許し下さい。

前述の浅草の町おこしを一喝させていただくならば、評論家の方が言うように、古いタイプの町作りなのかもしれません。

では新しい町作り、2020年東京オリンピックに向けての町おこしに、必要なのは何かというと、3つのインターです。3つのインターとは、インターネット、国際的、そしてインターフェイスです。

まず、インターネットですが、パソコンやスマホの専門誌であるアスキーの今年1月の記事を読ませていただきます。

ライブ配信(生放送)はなぜ人気で増えている? というタイトルなのですが。

現状、ライブ配信というと「YouTube Live」をイメージする人が多いかもしれません。YouTube Live以外にこうした「ライブ(配信)」を見ることができるサイトのひとつに「Twitcasting Live(ツイキャス)」というサービスがあります。(中略)

ツイキャス以外にもライブ配信をコンテンツのひとつとしているサービスは非常に増えてきています。友だちや家族との連絡に良く使うコミュニケーションツール「LINE」には「LINE LIVE」、写真

を気軽に投稿することができるソーシャルメディア「Instagram」も「Instagram Live Stories」、さらに言えば動画コミュニティアプリとして人気の「Mixchannel」にも「Mixchannel Live」と呼ばれるライブ配信の仕組みがあります。つまりは多くのサービスが文字や写真、動画でのコミュニケーションのさらに一歩先のコミュニケーションのカタチとして「ライブ(配信)」に注目をしているのです。

私が提案したいのは浅草テレビです。などというと、さぞや資金が必要と考えるのではないのでしょうか。もし、私が浅草テレビを創設するならば必要な資金は0円です。

雅楽TVというのがあります。これは、シリーズになっていて、今回は雅楽の笛を作る職人にインタビューをして録画し、後で編集してYouTubeに投稿するだけなのです。

しかし、これだと資金は不要ですが前時代的です。前述のように、ライブ配信・生放送が一番効果的です。

次に、国際的ですが、言うまでもなく、現在もそうであるように、2020年の東京オリンピック開催は、外国からの観光客をどう受け入れるかにあります。

私が提案した浅草テレビですが、浅草の街角に三畳ほどの開放型のサテライトスタジオを作ります。バイリンガルな方を探し、MCを担当していただき、英語と日本語で番組を作ります。このちいさなサテライトスタジオで、日本の芸能を紹介し、もちろん雅楽の演奏もあります。合間にはコマーシャル、つまり各店の商品の紹介、試食なども織り交ぜて商品の説明、宣伝を生放送します。当然、人だかりができます。

つまり、海外からの多くの観光客は、訳も分からず食べたり買ったりしなければならぬ、もしくは買う気になれない状況を解消しようという試みです。

最後に、インターフェイスですが、その意味するところは観光客との接点です。

ただ物を置いて、外国人に外国語で説明することもなく、おとなしく買って帰れというのは、外国人観光客に不親切としか言いようがありません。

この小さなサテライトスタジオという小屋のようなものが、演奏、芸能のステージであり、テレビスタジオであり、外国人観光客との接点、インターフェイスになる、このようなアイデアを練ってみました。

ご批判もあろうかと思いますが、ご静聴、ありがとうございました。

長谷川景光

<http://heiangakusha.jpn.org/kagemitsu.htm>

kagemitu@poem.ocn.ne.jp